

音楽団あらかると

野瀬通雄

大阪府音楽団（団長 黒田教育文化課長兼務）は府音楽団設置規則に示されるところとおり、音楽を通じて府民に接し、府行政の円滑な運営と府民の情操涵養に資する使命をもつて、昭和二十七年十一月に設置された吹奏楽団（プラス・バンド）である。

現在、指揮者 井町昭副団長を中心に管楽器を主とする三十四名編成で、その事務所と練習場は豊中の服部緑地公園内にあつて、一般府民からの依頼演奏に応じるほか、本府主催行事である各種の式典伴奏、そのほかゲストを迎えての特別演奏会、三越劇場や毎日ホールの定期演奏会、さらに中学生対象の吹奏楽講習会など多方面に活躍している。

そこで、音楽団についての幾つかの話題を拾つて綴つてみよう。

「海ゆかば」から「ジン・グルベル」まで

はじめに、最近の音楽団の演奏活動について紹介してみたい。

ちなみに過去四年間の演奏回数を見ると、別表のとおりであるが、四十三年度の一八〇回は四十年度の九十八回に比較すると実に倍増を記録し、最近の需要増は目を見張るものがある。そして、年間一八〇回といえは二日に一回演奏している勘定であり、以上の演奏回数を強制することは、自らの演奏技術を低下させる

結果を招来することになり、これがリミットと考えねばなるまい。

次に、依頼演奏で学校演奏の急増著しいことに注目したい。日頃生の音楽や楽器に接する機会に恵まれない児童生徒を対象とする学校演奏では、演奏前に行なう楽器説明や曲目解説を聞き、本格編成の生演奏を目前に鑑賞することにより、音楽教育の上にも情操陶冶の上にも大きな意義を有するものと信じる。教育文化課に属する音楽団が、より教育的な場でも積極的に進出して指導的役割を果たすべきである。

演奏回数年度別一覧表 (回)

区 分		年 度	40	41	42	43
依 頼 満 奏	一 般		20	29	50	40
	学 校		18	34	26	68
本 府 行 事	式 典		26	25	26	30
	演 奏 会		34	34	31	42
計			98	122	133	180

また、本府行事の式典のなかで特に印象的なものは、府立青少年会館文化ホールで定例的に行なわれる戦没者叙位叙勲伝達式であろう。音楽団の演奏する「暁に祈る」ではじまり、続いて「露宮の歌」がいかに悲しいメロデーとして奏せられる。このような響きが勇躍戦場に発たれた軍人・軍属の勇姿をよみがえらせ、遺族の方々のすすり泣きを誘う。そして、モーニング姿に威儀を正された左藤知事から伝達されて後、再び「海ゆかば」の演奏で式は終り閉幕するのである。

さらに、職員の皆さんを対象として毎秋、長居の競技場で開かれる「職員体育大会」や年末恒例の「クリスマス・コンサート」など厚生課主催の行事でも既におなじみをいただいているとおり、行進曲は当然のこと、「海ゆかば」から「ジン・グルベル」まで幅広いレパートリーをもつて、ある時はステージ演奏に、ある時は街頭パレードにと広い範囲で活動を続けているのである。

大入りの演奏会

ところで音楽団では去る二月二十四日（火）午後六時半から、北区堂島の毎日ホールで第九回定期演奏会を開催した。これは昨年九月十二日に続いて行なわれたものだが、実は一、四〇〇名収容の大ホールでの演奏会は余程でない限り満